



▲真剣に札を取り合う生徒たち

9月15日、県立磯城野高校で「田原本ふるさとかるた大会」が開催されました。これは、町が全校生徒に配布したふるさとかるたを活用し、地元を知る機会にしようと高校で企画されたものです。

予選を勝ち抜いた約40人が熱戦を繰り広げ、見事1位になった小森佑樹さん（2年）は「かるたを通して、自分の通う田原本町のことを学ぶことができた」と話していました。

9月
15

かるたを通して町を知ろう 磯城野高校で「田原本ふるさとかるた」大会



◀町長からお祝いを受ける松岡さん(左)



▶町長からお祝いを受ける梅田さん(右)

9月15日、敬老の日を前に、森町長が町内の女性最長寿者の松岡楢菊さん（105歳）と男性最長寿者の梅田隆吉さん（100歳）をそれぞれ訪問し、敬老の祝い品を贈呈して長寿をお祝いました。

町長が、「これからも健康で長生きしてください」と声を掛けると、お二人ともお元気な様子で応対され、家族の皆さんと共に長寿を喜ばれていました。

9月
15

これからもお元気で 町長が男女最長寿者へ敬老の祝い品を贈呈



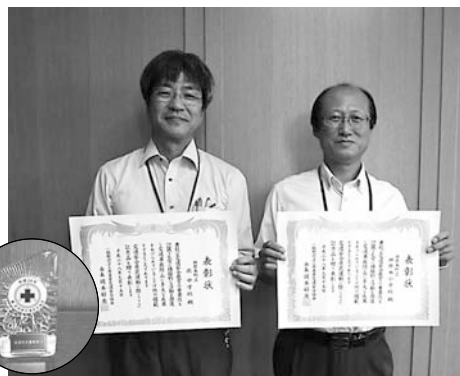
▲認知症の人への対応方法を演劇形式で学ぶ

9月15日、県立磯城野高校で認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する応援者になってもらうための認知症サポーター養成講座が行われました。

講座では認知症の症状を学び、認知症の人への対応方法を演劇形式で観劇後、グループに分かれて話し合いました。参加した生徒たちは、「困っている人がいたらサポートしたい」などと感想を話していました。

9月
15

認知症を正しく理解し地域で支える 磯城野高校で認知症サポーター養成講座



▲受賞した北中学校の中野校長と田原本小学校の岩田校長（左から）と記念の楯（丸粹）

9月15日、「平成28年秋の交通安全県民大会」で、北中学校と田原本小学校が交通安全優良学校（県内13校）として奈良県交通安全協会会長表彰を受賞しました。

両校長は「学校だけでなく、保護者、PTA、地域の皆さんなどの協力があったりいただいたもの。これからも子どもたちの交通安全に対する意識を高める取り組みをしていきたい」と話していました。

9月
15

交通安全に対する取り組みを評価 奈良県交通安全協会会長表彰を受賞

9月
26

西日本学童軟式野球大会で準優勝

田原本スラッガーズが町長を表敬訪問



▲準優勝を果たした喜びを町長に報告

9月26日、田原本小学校の児童が所属する田原本スラッガーズの選手17人が、森町長を表敬訪問しました。同選手たちは、8月26日から舞洲ベースボールスタジアム（大阪府）で行われた「第23回西日本学童軟式野球大会」で準優勝を果たしました。町長からお祝いの言葉がかけられ、主将の松並さんは「このチームで試合に出れてうれしかった」と話していました。



▲協定書を交わした森町長（前列左）と天理市長（前列右）、西川議長（後列右から2人目）、古立副議長（後列右端）

定住対策や交流人口の増加を図る

天理市との「定住自立圏形成協定」調印式

10月
5

10月5日、天理市と本町が「定住自立圏形成協定」を結びました。これは、天理市を中心とした山添村、川西町、三宅町の1市2町1村で形成する「大和まほろば広域定住自立圏」に参加し、本町及び圏域の魅力向上と定住対策や交流人口の増加を図ることを目的としています。今後、圏域全体としての魅力と活力の向上に寄与する事業に積極的に取り組んでいきます。

9月
27

地方創生のさらなる推進に向けて

奈良中央信用金庫との包括連携協定



▲協定書を交わした奈良中央信用金庫理事長高田知彦さん（左）と森町長

9月27日、奈良中央信用金庫と本町は、地方創生に関する取り組みをより一層推進するため、包括連携協定を結びました。この協定に基づき、奈良中央信用金庫と町が、まちづくり・子育て・教育・文化・産業などの事業分野において、それぞれが持つ資源を有効活用し、緊密な相互連携と協力をし、地域活力の増進、地域経済の発展の向上を目指します。

弥生時代に思いを馳せて

北小学校の児童が柱立体験

10月
5



▲力を合わせて穴の中に柱を立てる

10月5日、田原本北小学校6年生32人が弥生時代の生活を体験する総合学習の一環として唐古・鍵遺跡史跡公園予定地内で、柱立体験を行いました。当時の衣装を着た児童たちは、長さ4尺の柱を力を合わせて牽引して穴に落とし込み、「テコの原理」を使って立ち上げて固定しました。児童たちはうれしそうに、立ち上がった柱を見上げていました。